

事務事業名	斎場運営事業	整理番号	32702-000
所管	広域行政組合事務局 庶務課		

事務事業の位置付け

期間	昭和55年度～平成年度	根拠法令・要綱等	墓地埋葬等に関する法律
基本計画における位置付け	基本政策	3-2 ゆとりと潤いのある市街地整備の推進	関連政策
	政策	3-2-7 霊園・斎場の整備	

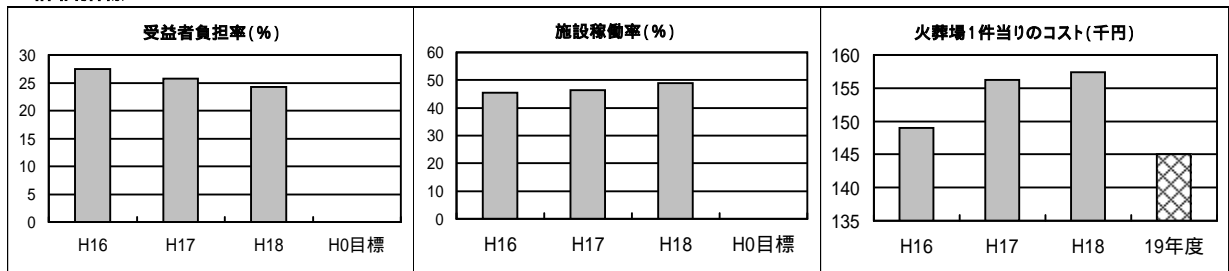
事務事業の内容

目的 (何のために)	死体及び人体の一部等の火葬、出産に伴う胞衣等の焼却、葬儀・葬祭並びに窓外施設の管理運営
対象 (誰・何を)	管内者(御殿場市又は小山町に住所を有する者)及び管外者(管内者以外の者)
手段 (どのようなやり方で)	火葬業務及び当該施設の管理運営
成果 (どのような状態にしたいか)	死者の尊厳を重視し、会葬者が安らかな雰囲気故人を送ることができる施設の管理運営
事務事業の背景・住民の意向	近隣住民に環境汚染問題や管理運営上の問題等について違和感を与えない。施設利用者からの要望や意見を採り入れるためのアンケートを実施し、施設の管理運営や施設改修に反映させる。
見直し改善の経過	施設周辺の環境保全及び火葬時間の短縮化を図るため、平成19、20年度の2カ年で火葬炉等の改修を行う。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	遺体の火葬 827件、胞衣等の焼却 51件、告別式場利用 5回 霊安室の利用 105回	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p> <p>16年度 17年度 18年度</p>
平成17年度	遺体の火葬 846件、胞衣等の焼却 75件、告別式場利用 9回 霊安室の利用 103回	
平成18年度	遺体の火葬 886件、胞衣等の焼却 75件、告別式場利用 0回 霊安室の利用 77回	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント													
<table border="1"> <tr><td>観点別評価</td><td>必要性</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>有効性</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>効率性</td><td></td></tr> <tr><td>一次評価</td><td>B</td><td></td></tr> </table>	観点別評価	必要性			有効性			効率性		一次評価	B		<p>必要不可欠な施設であり、死者の尊厳を重視し会葬者が安らかな雰囲気故人を送ることが求められている施設であるが、火葬炉等施設の問題で整骨、火葬時間について利用者の要望に応えられない事例が出てきている。利用者の要望に対応するためには、施設の更新が必要である。</p>	今後の方向性
観点別評価	必要性													
	有効性													
	効率性													
一次評価	B													
	継続													
観点別・二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント													
<table border="1"> <tr><td>二次評価</td><td>B</td><td></td></tr> </table>	二次評価	B		施設の改修更新事業と合せて運営方法についても検討すべき	今後の方向性									
二次評価	B													
		継続												

改革プラン

平成19年度からの対応	施設の老朽化に伴い、環境対策、作業環境の改善、省エネ対策及び棺の大型化等に配慮し、火葬炉の改修を行う。
平成20年度以降の対応	前年度に引続き、火葬炉の改修を行う。
改革により予想される成果	施設の改修を行うことにより、コストの削減、火葬時間の短縮が期待でき、会葬者がより安らかな雰囲気故人を送ることができる等、住民サービスの向上に寄与できる。